

2015年3月 定期報告と次月度以降の活動予定

活動日誌

活動日誌		
3月	5日	地方消費者グループ・フォーラム実行委員会
	7日	シンポジウム「共助社会の実現に向けて」
	9日	栃木県食育推進連絡会
	10日	第6回常務理事会・マーケティング協会理事会
	12日	栃木県労働者福祉センター理事会・放射能物質理解促進セミナー・栃木放送番組審議会
	13日	エコ農業推進会議
	16日	第7回『組合員理事・組織担当職員学習会』
	17日	ふれあいお茶会
	18日	とちぎ食の安全ネットワーク(全体会)「農政改革と水田農業の課題」
	19日	小山市総合政策懇話会
	20日	レジ袋削減推進協議会
	22日	復興まちづくりシンポジウム
	24日	とちぎ消費者ネットワーク(全体会)
	27日	マーケティング協会総会・栃木県保健福祉部部長訪問
31日	日本生協連連議案書検討会議・中央地連運営委員会	
4月	4日	いわき市四倉仮設住宅お茶会
	6日	くらし部会
	7日	常務理事会
	9日	栃木放送番組審議会
	14日	財政検討委員会・定例理事会・見守り協定調印式
	16日	とちぎ食の安全ネットワーク(世話人)
	18日	山梨県「消費者シンポジウム」STOP 泣き寝入り
	21日	ふれあいお茶会
	22日	栃木県労働者福祉センター理事会
	27日	第8回組合員理事・組織担当職員学習会
28日	とちぎ消費者ネットワーク(幹事会)	
29日	福祉まつり(労福協)	
5月	1日	消費者被害啓発該当チラシ撒き(JR 宇都宮駅)
	7日	常務理事会
	13日	カレッジ「国際医療大学」
	14日	風見総会・栃木放送番組審議会
	16日	いわき市四倉仮設住宅お茶会
	19日	ふれあいお茶会
	21日	とちぎ食の安全ネットワーク(全体会)
	26日	とちぎ消費者ネットワーク(全体会)
29日	定例理事会・栃木県労働者福祉センター総会	

県連活動

1. ぐらし部会（地域生協組合員理事による部会活動）

3月定例会は、継続課題である介護保険制度改定に伴う地域支援事業への関わりなどを含めて次年度の活動計画について4月度定例会で検討することを決めました。

2. 『組合員理事・組織活動担当職員学習会』の開催

3月は、「栃木県という地域が抱える様々な問題について」として NPO 法人宇都宮まちづくり市民工房理事 安藤正知氏に学びました。分散会では、私たちの役割について話し合い社会の為に行動していくことを確認しました。

日	テーマ	講師	
9/22	「協同組合思想とその歴史」	栃木県生活協同組合連合会 竹内会長理事	36人
10/27	「今なぜJA改革なのか」	宇都宮大学 農学部 農業経済学科 秋山満教授	35人
12/1	「共有を深めるワークショップを学ぶ」	宇都宮大学 教育学部 陣内雄次教授	39人
12/15	「昨今の消費者問題と消費者市民社会の意義」	横浜国立大学 教育人間科学部 西村隆男教授	64人
1/20	「山谷の現状からみえてきた事 地域住民による生活困窮者の支援」	NPO 法人自立センターふるさとの会 滝脇憲常務理事	40人
2/23	「ぐらしから考える生協の活動」	教育アドバイザー毛利 敬典氏	35人
3/16	「栃木県という地域が抱える様々な問題について」	NPO 法人宇都宮まちづくり市民工房理事 安藤正知氏	29人
4/27	「いごちの良い葉の在り方について」	至誠キートスホーム施設長 大村洋永氏	
5/25	「日本経済（アベノミクス）と日々の暮らしの関係について」	高崎経済大学経済学部 矢野修一教授	
6/22	「私たちが考える生協の役割について」	参加者全員ワークショップ	

ネットワーク活動

1. とちぎ食の安全ネットワーク

3月は全体会が実施されました。次年度の活動方針について深めるため各参加団体の意見を次回4月世話人会で集約することになりました。毎回の全体会での学習会は、「農政改革と水田農業の課題」と題して、宇都宮大学農学部教授 秋山氏にお願いしました。

また、県より3月12日「放射能物質理解促進セミナー」の案内があり19人が参加し、放射能検査の取り組みを県農業試験場で学びました。

日	テーマ	講師
5/15	輸入食品の監視体制 TPP 参加で大丈夫か	宇都宮大学 宇田靖名誉教授
9/25	動物医薬品と食の安全性に関わるセミナー 「動物医薬品の安全性確保について」 「県における動物医薬品の適正使用の啓発・指導の状況について」	内閣府食品安全委員会事務局関口秀人課長補佐 栃木県農政部畜産振興課小松亜弥子主査
12/11	ハサップ（HACCP）学習会 1) はじめてのHACCP講座 2) とちぎハサップについて 3) うつのみやハサップについて	宇都宮大学名誉教授 宇田靖氏 県保健福祉部生活衛生課副主幹 都丸美枝子氏 宇都宮市保健所生活衛生課総括主査 長谷充啓氏 宇都宮大学農学部教授 秋山満氏
3/18	「農政改革と水田農業の課題」	

2. とちぎ消費者ネットワーク

3月の全体会では、とちぎ消費者カレッジ事業の報告と振り返りを話し合い、2015年度の事業説明が県よりありました。また、「地方消費者グループ・フォーラム」関東ブロック実行委員会の報告がされました。次年度の計画では、地域連携の推進、とちぎ消費者カレッジの実施、適格消費者団体の調査・検討、シンポジウムの実施、全体会での学習会計画、県ぐらし安全安心課との交流などが決まりました。全体会での学習会では、小倉弁護士が講師になり「リース被害について」マナビました。

日	テーマ	講師
5/27	消費者問題はなぜおこる	山田幹事
7/22	消費者市民社会における栃木県内のパブリックコメント制度を検証する	高岡幹事
10/28	適格消費者団体について	服部幹事
1/27	高齢者の消費者トラブルに対処するために「周囲の見守りと気づきが重要」	葛谷幹事
3/24	リース被害について	小倉幹事

震災支援活動

- みやぎ生協から発信される「3.11を忘れない 被災地のいま」をホームページで連続掲載支援 では、第19回をアップしました。



●震災支援「お茶会」の取組み

■ふれあいお茶会¹

2015年3月17日(火) 午前10時～12時 ●参加者11名 ●スタッフ9名(ウイズ1名・よつ葉生協2名・とちぎコープ4名・県連2名) ●場所：社会福祉法人ふれあいコープ特養みどり地域交流室 ●次回は4月21日に開催予定

(スタッフの感想から)

- ① しばらく振りで参加してくれた方、本当にありがたかった。顔を見られるということはこんなにも嬉しく、安心するものかと実感した。
- ② 同居の息子夫婦とは食事の時間も合わず、近くに買い物する店もないとのこと。
- ③ 手芸ではバックを作った。色も華やかで春らしいと評判だった。中に何を入れるか(おにぎり、保険証など)でおしゃべりが弾んだ。
- ④ おはぎを3種類作った。参加者の方はおしゃべりと手芸に夢中のようで、スタッフでほとんど作ってしまったが良かったのか疑問が残る。
- ⑤ Tさんとおしゃべりがとても楽しかった。涙が出るほど笑ったのは久しぶりだった。次回も盛り上がるお茶会であって欲しい。
- ⑥ 参加者の方が引越し先で家を建てたとのことだが、その後のことをふと考えてしまう。
- ⑦ 次回のお茶会はお花見、お散歩、外に出てみたいとの声があった。

■いわき市四倉仮設住宅お茶会²

3月の取組みはありませんでした。 ●次回は4月4日に開催予定

以上

¹ 行政、NPO 法人ウイズ、県連会員などの協力のもと、社会福祉法人ふれあいコープ特養みどりの地域交流室を使って開催する福島からの避難者を対象にしたふれあいお茶会を定例で実施しています。(目的:①参加者同士をつなげる場、②参加者の想っていること困りごとを受けとめつなげる場、③おしゃべりを楽しんでもらう場:基本は毎月第三火曜日開催)

² 県連会員の協力のもといわき市四倉仮設住宅に暮らす避難者の方を対象にしたお茶会を仮設の集会所で開催します。(目的:ふれあいお茶会と同様・基本は毎月第二土曜日開催)